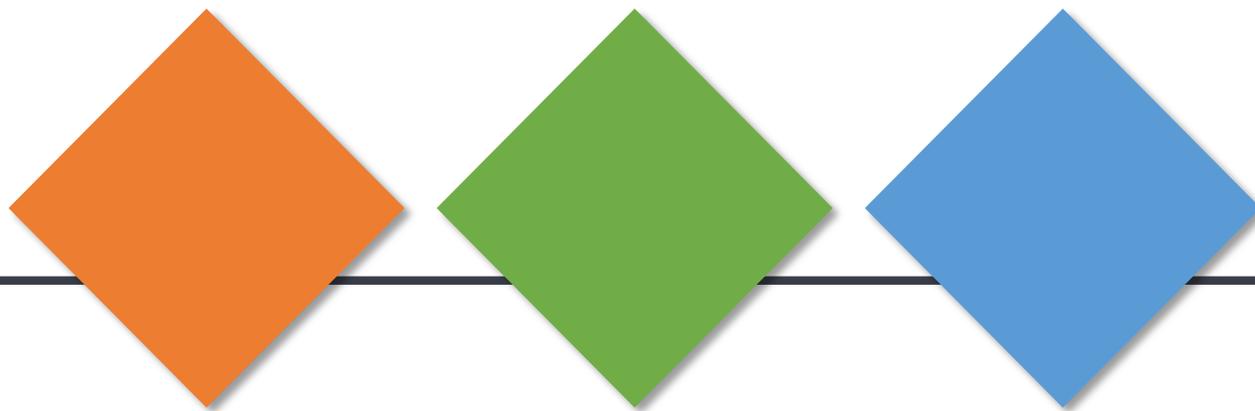




サービス動作体験編(短縮版)

---

# KoPpoMaiを使った LBSコンテンツ作成について





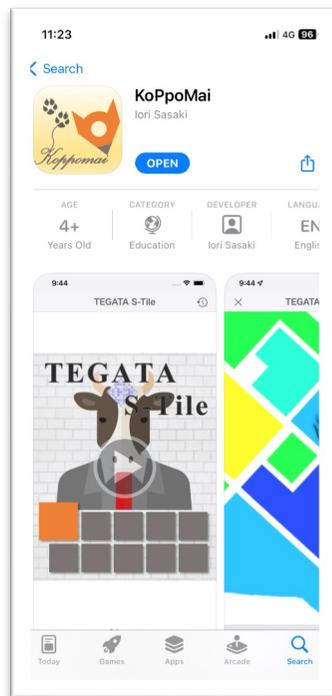
1/3

# アプリKoPpoMaiとは？



# 実習で扱うツールについて

- 皆さんが扱うのは
  - コンテンツ定義フォルダ：MyContent
  - モバイルアプリ：KoPpoMai (こっぽまい)



AppStore

①インストール

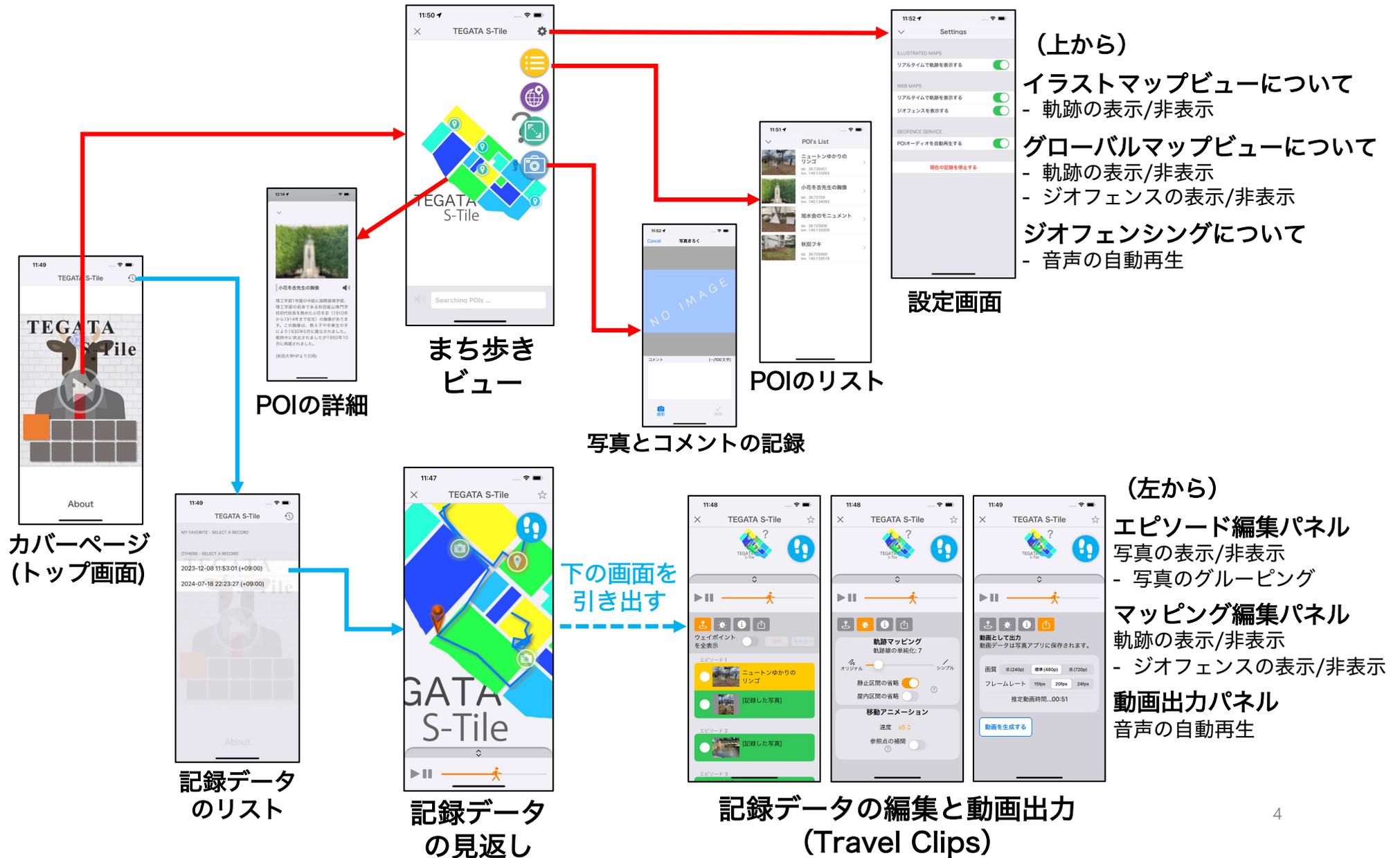
iPhone



②ロード



# アプリKoPpoMaiの画面遷移図



# まち歩きガイドサービスを作ろう！



ガイドマップ

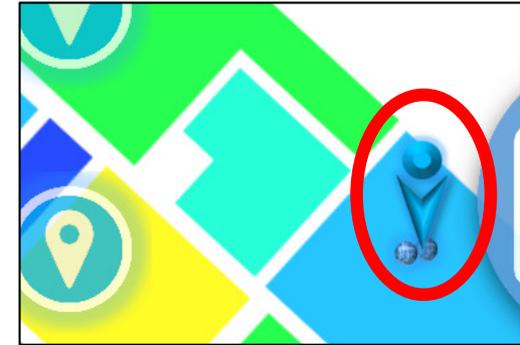
紹介したい  
スポット(POI)の  
写真やテキスト,  
音声データなど

MyContent  
フォルダ

## (1) ジオリファレンシング



ガイドマップ上で  
現在地が確認できる。



## (2) POIとジオフェンシング



POIに近づくと  
ガイドが自動で  
再生される。



スタンプラリーも  
実現できる。



2/3

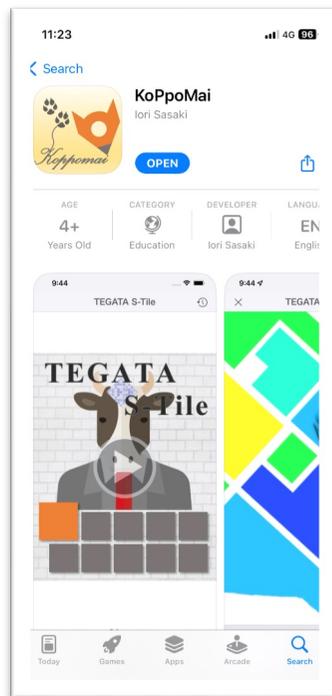
# コンテンツ定義フォルダ

KoPpoMaiをカスタマイズしてアプリを作る



# 実習で扱うツールについて

- 皆さんが扱うのは
  - コンテンツ定義フォルダ：MyContent
  - モバイルアプリ：KoPpoMai (こっぽまい)



AppStore

①インストール

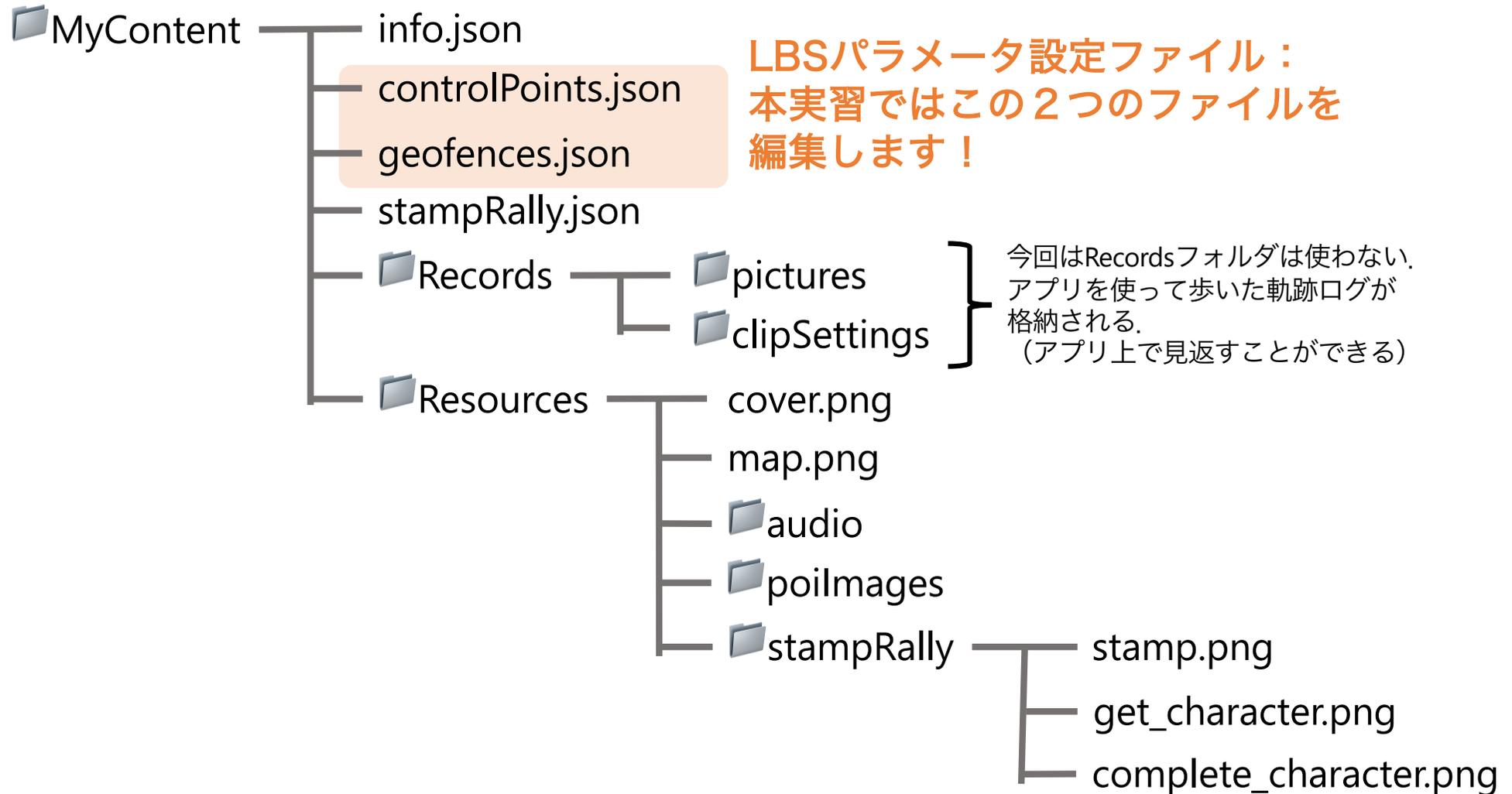
iPhone



②ロード



# MyContentフォルダの階層



- この構造とJSONファイルの文法が適切になされていないと正しくロードされない。

# 補足：JSONファイル(.json)とは？

## データ記述言語

- コンテンツのタイトル名やGeofenceの中心位置や半径など諸々の設定を記述する。

```
{
  "名前": "秋田 太郎",
  "年齢": 26,
  "身長": 173.4,
  "ペット": [
    {
      "名前": "タマ",
      "年齢": 4
    },
    {
      "名前": "ポチ",
      "年齢": 6
    }
  ]
}
```

JSONファイルの記述例

文字列型はダブルクォーテーション「"」で囲う。

数値型はそのまま記述。

配列型は角カッコ「[]」で囲う。

```
{
  "名前": "秋田 太郎"
}
```

キー 値

# controlPoints.json -ジオリファレンスのため-

```
1  [  
2    {  
3      "geo": [xxx.xx, xxx.xx],  
4      "img": [xxx, xxx]  
5    },  
6    {  
7      "geo": [xxx.xx, xxx.xx],  
8      "img": [xxx, xxx]  
9    },  
10   {  
11     "geo": [xxx.xx, xxx.xx],  
12     "img": [xxx, xxx]  
13   }  
14 ]  
15
```

数値型配列な二つのキー(geoとimg)からなる辞書の配列型になっている。

コントロールポイントの数だけ配列の要素数を増減させること。

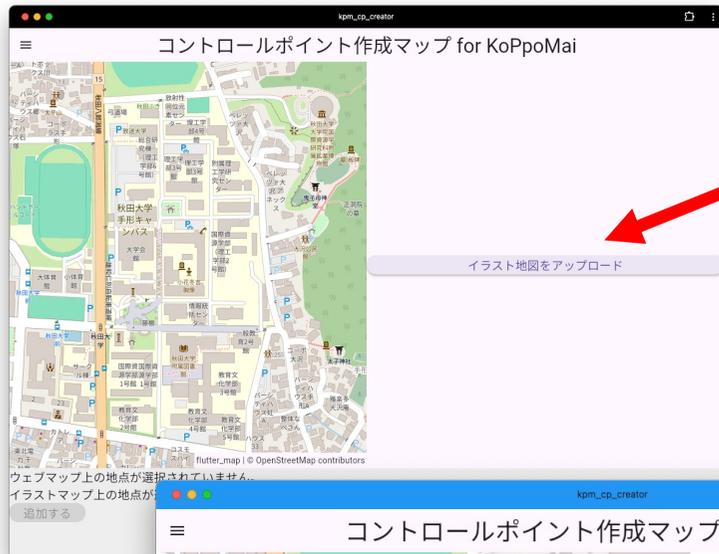
➤ **geo**: 地理座標[緯度, 経度]。[小数値]

例：東京タワーならば, [35.658584, 139.7454316]

➤ **img**: 画像座標[x, y]。単位はピクセル。[整数値]

例： [123, 342]

# controlPoints.json -ジオリファレンスのため-



「アップロード」から、  
設定したいイラストマップを  
選択してください。



間違えたら、  
追加済みマーカを  
クリックして「削除する」

左右のマップで  
対応するポイントを選び  
左下ボタンで「追加する」

4~10ほど追加したら  
左上の ≡ を押して、  
テキストをすべて  
controlPoints.jsonに  
そのまま置換。

# geofences.json -POIとジオフェンシング-

```
1  [
2    {
3      "id": 0,
4      "center": [xxx.xx, xxx.xx],
5      "radius": xx.x,
6      "title": "enter your title here",
7      "script": "enter your script here"
8    },
9    {
10     "id": 1,
11     "center": [xxx.xx, xxx.xx],
12     "radius": xx.x,
13     "title": "enter your title here",
14     "script": "enter your script here"
15   },
16 ]
```

POIを定義してアプリに反映する。  
radiusに応じてジオフェンシングする。  
idによってマルチメディア(画像・音声)  
と紐づく。

POIの数だけ配列の要素数を  
増減させること。

- **id**: POIを識別する番号。0からの連番にすること。[整数値]
- **center**: 設置する地理座標[緯度, 経度]。[小数値]
- **radius**: ジオフェンシングする半径[m]。[小数値]
- **title**: POIのタイトル。[文字列]
- **script**: POIの説明・ガイド。[文字列]

例： 秋田大学中央図書館

例： ここでは学生の皆さんが本を閲覧したり借りたり  
することができます。

# Recordsフォルダ -移動軌跡データ-

---

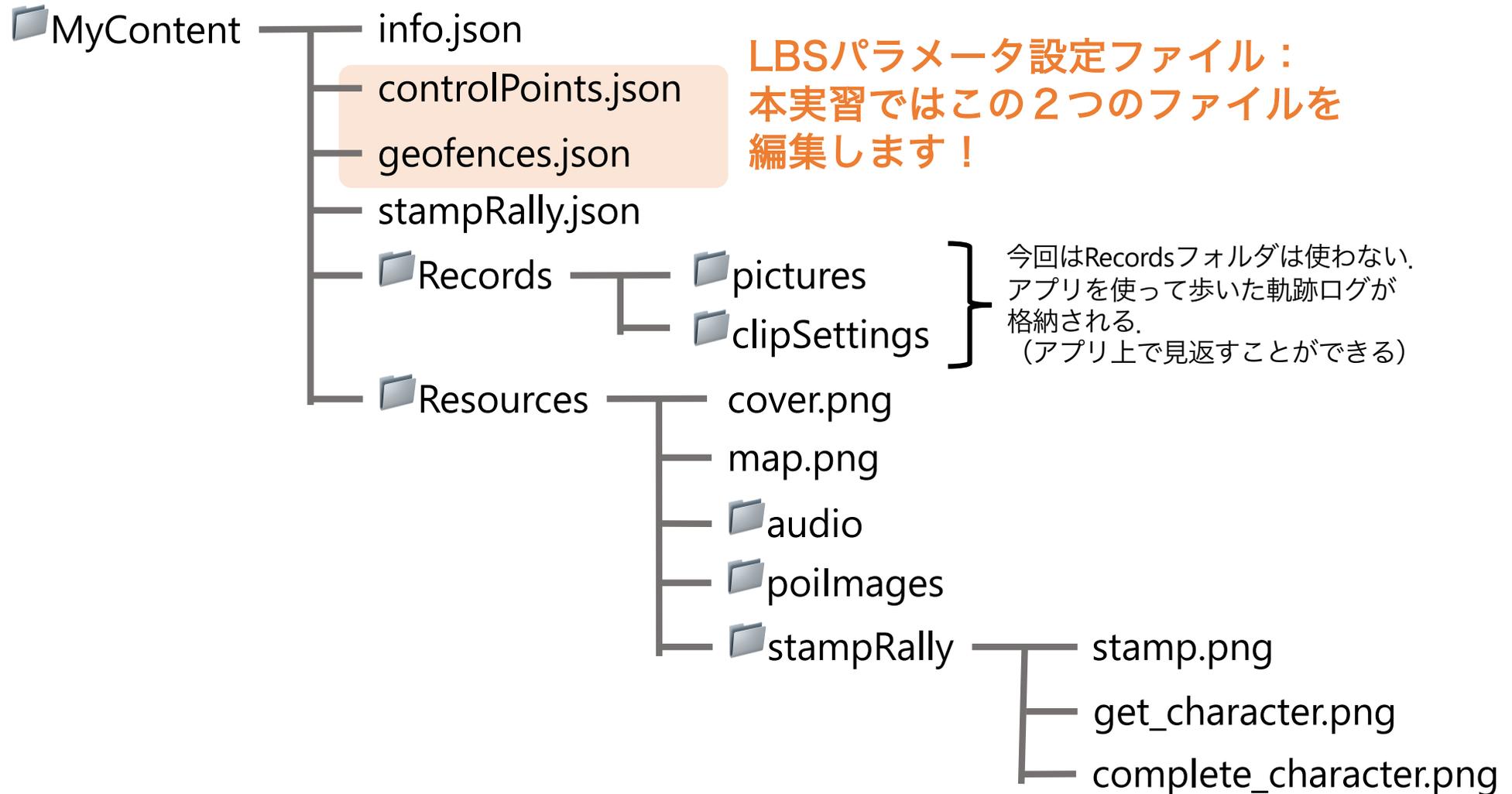
- アプリでまち歩きをすると自動で生成される。
- Presentation Modeから中身を見返すことができる。
- ファイルフォーマットはGeoJSON。
- 中身を編集して、移動シミュレーションができる。
- Clip機能の設定ファイルもここに保存される。

3/3

# 編集作業のヒント



# MyContentフォルダの階層



- この構造とJSONファイルの文法が適切になされていないと正しくロードされない。

# 編集作業をはじめよう

---

➤ Visual Studio Code (マイクロソフト社) を使ってみよう。

**Step 1: MyContentフォルダを開く。**

Step 2: テキストファイルを編集する。



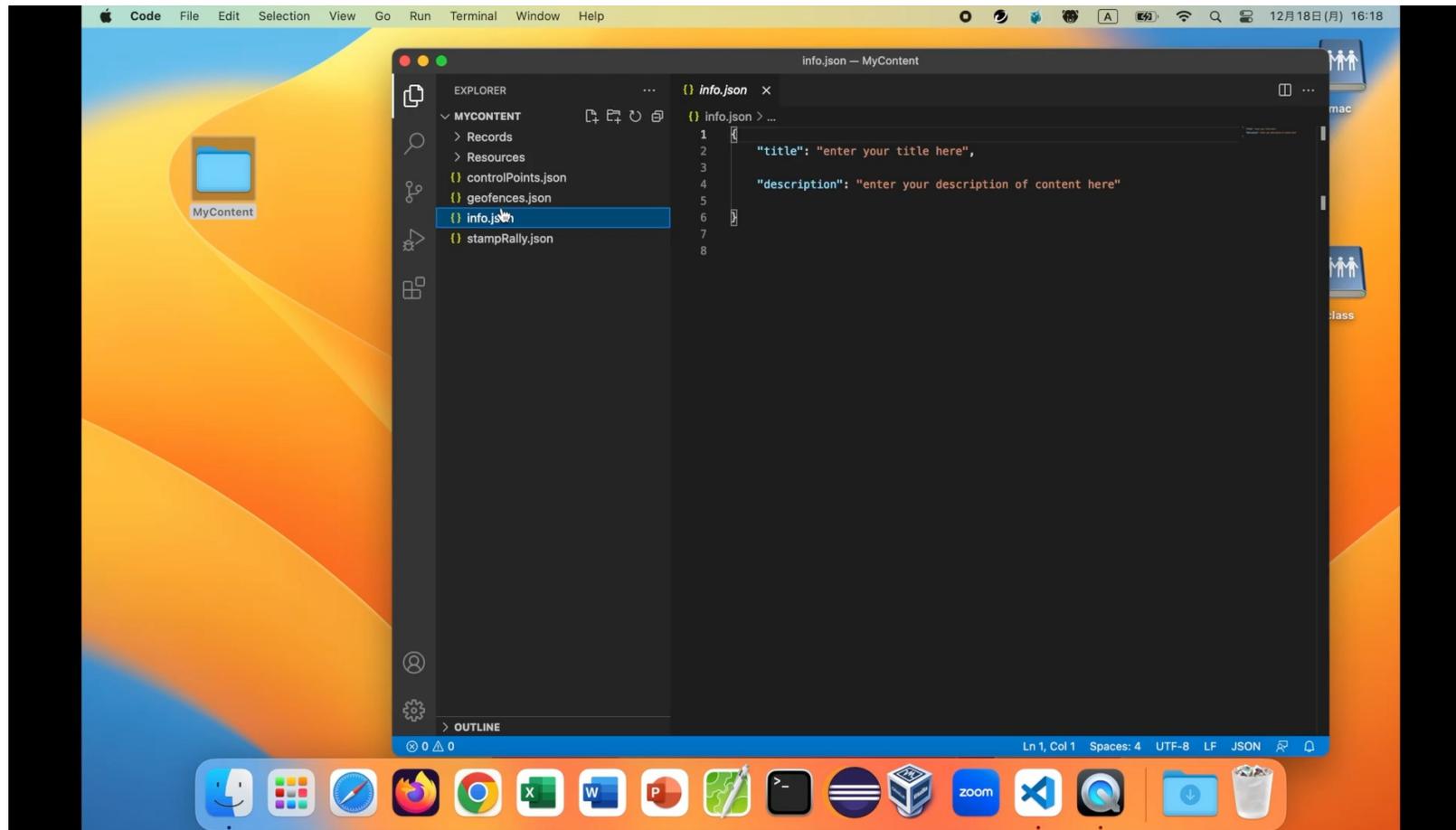
# 編集作業をはじめよう

---

➤ Visual Studio Code (マイクロソフト社) を使ってみよう。

Step 1: MyContentフォルダを開く。

**Step 2: テキストファイルを編集する。**



# 自作のMyContentをデバイスにロード



MacBookの,  
Finderを開く。



- USBで繋ぐとfinderから接続デバイスにアクセスできる。
- ファイルタブを開く(①)。
- KoPpoMai-iOSを開くと、MyContentがある(②)。
- これを削除し、自分のMyContentをドラッグアンドドロップで入れる。
- アプリを再起動。

一度、デバイスにKoPpoMaiをインストールし起動させてからでないとその操作はできません。